

新年

あいさつ



— 自立の村の人づくり —

関川村長 平田大六

あけましておめでとうございます。村民の皆さまにおかれましては、それぞれに、新しい年を迎えられたことを拝察いたします。

昨秋の「The MATSURI サミット in 関川村」では、皆さまにご支援、参加いただきありがとうございました。IVUSA（学生）の方々の100名参加も心強いものでした。プロジェクトチームやコミュニティからの、若い方々、ごくろうさまでした。この若い力が、これからの村づくりの中心になっていただければと願っております。

関川村が自立の道を歩んで10年がすぎました。春に実施させていただきました住民アンケートでは、半数以上の方々に、このことを認めていただきました。さらにこれをすすめて「小さくてもキラリと光る」村づくりをつづけてゆきたいと考えています。

少子高齢傾向が強まり、人口減少が加速しています。子育てしやすい環境づくり、働く場の創出などにより、これをおさえたいと考えます。乳幼児から少年までの支援策を検討

しています。また、雇用の場については、一昨年から取り組んでいます木質バイオマス発電事業計画が、機械装置の検証の段階にあります。検証は、専門の学者、技術者の二人にお願いし、研究・設計・製作の場のドイツに行っていただきました。私も同行し、現地の技術者にお会いしてきました。今後は検証の結果をいただき、資金融資申請へとすすめてゆきます。村民の皆さまには、機会をみて説明させていただくことにしています。

基幹産業の農業は、国の方針が再び大きく変わるなかで、村の役割を模索しなければなりません。女川地区のほ場整備は本格的な作業に入ります。

私事になりますが、暮れの選挙で、引き続き村長をおおせつかりました。無投票は、100%信任されたというものではありません。そのことを心にいれ、村民の皆さまの声を聞きながら村政を担当させていただきます。ご指導ください。

新年にあたりご多幸をお祈りします。

謹 賀

年 頭 の ご



— 四期目に期待する —

関川村議会議長 高橋 八 男

あけましておめでとうございます。村民の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。新たなページを刻むこのときに、緑豊かな地球に生き、この瞬間にしか味わえないたくいまれなる感動を、村民の皆様方とともに享受する喜びと興奮は、まさに言葉では言い表せないものがあります。

しかしながら、世界の政治・経済は依然、混沌としており先行きの不透明感が払拭できない情勢であります。我が国においても景気回復のための諸施策が講じられているところですが、一刻も早い回復を望みたいところでもあります。

昨年12月の村長選挙では、無投票で平田村長が四期目に就任され、舵取りが始まりました。国家財政も非常に厳しい中、わが村におきましても同様の厳しい財政運営を余儀なくされています。

平田村長は、平成の大合併には参加せず、自立した村づくりに力を入れてきた12年間の実績を強調し、村を支える若い世代を育成する場を設け、子育て支援、よりよい保

育環境づくりを進める、また、雇用対策につながる森林資源を有効活用し、木質バイオマス発電事業にも重点的に取り組む方針を示しています。

「キラリと光る村づくり」が進められています。昨年の10月に行われました「The MATSURIサミットin関川村」も大きな経済効果だと思えます。

今、時代の求めるものとして介護保険等がございしますが、これらも万全を期して進めています。

我々議会といたしましても、時代を見据えた情報分析に力点を置きながら、村民の求める効率の良い行政を念頭に村行政部と互いの知恵を出し合いながら、村民参加の村政運営に努力して行く所存であります。

依然として厳しい生活環境ではございますが、村民のさらなるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。この一年が村民の皆様にとって輝かしいものでありますようご祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。